

(別記)

令和7年度水巻町水田農業推進協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の耕作面積は約102haであるが、そのうち水田面積が約87haと全体の約85%を占めており、水稻中心の農業が行われている。しかし、高齢化、担い手不足に加え、農地転用による宅地化も進行しており、作付面積は年々減少する傾向にある。

また、販売用野菜類の生産は20戸ほどの生産者で、あわせて約5haが作付けされているが、露地栽培による小規模な生産者が多いことから、生産基盤も弱く、収益力の向上には至っていない。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農家の高齢化が進み、今後も農家戸数の減少が続くことが懸念される。農地の維持、収益力強化のために、販売用野菜や特産品づくりとしての「ジャンボニンニク」の生産を推進していく。

「ジャンボニンニク」については、生産者等の協働により、地場スーパー等への販路拡大、加工品の開発等も行っていくこととしている。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農家戸数も少なく、高齢化、担い手不足等の要因もあり、高収益作物への急速な転換は困難であることから、需要動向を見ながら、売れる米づくりを念頭に、品種の選択や生産方法の検討を行い、消費者ニーズにあった安全・安心な主食用米の作付けを中心に行っていく一方で、販売用野菜や特産品づくり等も推進していく。営農計画書により作付の予定や生産者の意向を把握し、水田の作付状況の現地確認を行い、畑作物の水田での利用状況等の点検結果を踏まえ、畑地化の検討も行い、水田の有効利用を図る。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要動向を見ながら、売れる米づくりを念頭に、品種の選択や生産方法の検討を行い、消費者ニーズにあった安全・安心な主食用米の作付けを行う。

(7) 高収益作物

高収益作物として販売用野菜の生産を推進しており、今後も産地交付金等を有効活用し、野菜類の生産拡大を目指していく。また、その中でも、特産品づくりのため、ジャンボニンニクを重点的に推奨し、産地交付金を活用した作付面積の拡大を目指していく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等	当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米	45.5		58.1		45
備蓄米					
飼料用米					
米粉用米					
新市場開拓用米					
WCS用稲					
加工用米					
麦					
大豆					
飼料作物					
・子実用とうもろこし					
そば					
なたね					
地力増進作物					
高収益作物	5.3		4.4		5.5
・野菜	5.3		4.4		5.5
・花き・花木					
・果樹					
・その他の高収益作物					
その他					
・〇〇					
畑地化					

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	ジャンボニンニク	特産物づくり（基幹）	作付面積	（令和6年度）174a	（令和8年度）220a
2	高収益作物	地域振興作物助成 （高収益作物）（基 幹）	作付面積	（令和6年度）479a	（令和8年度）550a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:福岡県

協議会名:水巻町水田農業推進協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	特産物づくり(基幹)	1	49,000	ジャンボニンニク	助成年度に販売したもの
2	地域振興作物助成(高収益作物)(基幹)	1	27,000	高収益作物(別紙のとおり)	助成年度に販売したもの

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。